

2023年8月2日
イオン九州株式会社

豊後の国 大分の夏にやどる大分市最大の祭り

ふ ない ぱっちゃん 『第39回 府内戦紙』

地域みなさまと一緒にイオングループの従業員も参加します！

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は、2023年8月4日（金）に大分県大分市で開催される「第39回 府内戦紙」に“踊り隊”として参加いたしますので、お知らせいたします。



◆『府内戦紙』とは

大分市で毎年開催される「大分七夕祭り」の中の催し物の1つで、骨組みに和紙を貼って立体的にかたどった各参加団体の個性豊かな山車と踊り隊が元気よく街を練り歩く地元大分で愛されるイベントです。

昭和60年、大分商工会議所青年部発足4年目を迎える年、地域商店街の活性化について協議する中、他県の有名な祭りに比べて大分市の祭はメインとなるものがなく、「新しい文化をつくるべきだ！」と若者の立場から夏祭りを検討し、全国の祭を研究しました。

目標は10年で街の文化となる祭を創ること。大分商工会議所青年部は青森の『ねぶた』を基に“大分らしさ”と“躍動感”を加えようと独自で電飾の山車を作成し、『大分七夕祭り』の市民みこしに1基で参加したことがはじまりです。当時の市長佐藤益美氏が、子供のころ遊んだ『ぱっちゃん』（めんこ）の絵柄のようだと評したことから『府内ぱっちゃん』と命名されました。



色鮮やかな山車と踊り隊



迫力ある山車

■ 第39回 府内戦紙についてはこちらから <http://www.oita-yeg.gr.jp/patchin/history.html>

◆府内戦紙とイオン九州

イオン九州は「ずっと」を大切に、「もっと」を創造する、九州でNO. 1の信頼される小売業を目指し、常に地域に根ざしてまいりました。地域の人々と共に生活文化の発展にこれまで以上に貢献していきたいという想いから、2019年に初めてイオン九州をはじめイオングループ各社と共に“踊り隊”として『府内戦紙』に参加させていただき、地域の人々と交流を通じて、『府内戦紙』が地元で愛される伝統行事であることを体感いたしました。



2019年『府内戦紙』踊り隊参加時の写真

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から2019年から2022年にかけては、山車の展示や参加人数・規模を縮小しての開催が続いていました。

イオン九州は「府内戦紙を楽しみにされていた大分のみなさまを元気づけたい」「地域の伝統行事を何か違った形で発信していきたい」という想いから、2021年にはイオンパークプレイス大分店（大分市）にて、ミニチュア山車の展示会を開催し、展示会終了後はミニチュア山車を大分県内のこども園に寄附しました。



2021年ミニチュア山車の展示

参加人数を拡大しての通常開催となる今年は、イオン九州をはじめイオングループ各社の従業員約90名が踊り隊として参加予定です。

イオン九州は、地域のみなさまとのつながりを大切に、九州各県のその地域ならではの生活文化・伝統文化の発展に努めてまいります。

以上